



た内務省明年度豫算に、先づその第一期工事ともいふべき門司市内の新設國道費として三百三十二萬五千圓が計上され、いよいよ實現の第一歩を踏み出した。該北九州沿岸道路は總工費三千三百萬圓で計畫されてをり、今回豫算に計上された分は門司市内だけで三ヶ年の繼續事業であり、今後産業道路としての使命を持つので、新線の名稱は四十號國道となる模様である。

◎内務省土木試験所談話

第二百三十二回技術談話會話題

昭一七、一八、一九、午後二、三〇

◎全日本科學技術團體聯合會第一回代表者總會 客十七年十一月十六日大東亞會館に於て、全日本科學技術團體聯合會第一回代表者總會が開催された。本會よりは牧彦七理事出席された。

第一部會十四名、第二部會十名、第三部會二十名、第四部會十二名、第五部會二十四名、第六部會二十九名、第七部會二十六名、第八部會十一名、第九部會七十四名、第十部會十三名會合し、開會の辭、國民儀禮、詔書奉讀、會長挨拶が順序行はれ、議事に入り、第一號として前總會後の事業經過並に昭和十六年度會計報告があり、次で定款修正に關する件(法人組織、事務所移轉其他)、昭和十七年度事業計畫並に豫算に關する件が附議せられ可決、役員改選の件を議決して閉會した。

◎北九州新國道々々着工 門司、若松を結ぶ新線國道の計畫は北九州五都市の地元關係者により提唱され、數年來これが實施に向つて猛烈な促進運動が展開されてゐたが、十日の閣議で決定し

- 一、コンクリート洗ひ分析現場試験標準方法案の作製に就いて 一木 技師
- 二、鐵筋コンクリート片持版の載荷試験 一木 技師
- 三、堰堤の溢流係數に關する模型實驗 佐藤 技師
- 四、路面の色光反射に關する試験並に燈火管制への寄與 島田 技師
- 五、木材割裂試験片の形狀とこれが試験成績に及ぼす影響に就いて 青木 所長

◎近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

○大阪商工會議所 (一一月號)

○鐵道之研究 (自動車特輯號、一一月號)

○石油時報 (一一月號)

○新東京工業大學學術報告 (第一卷一號)

(堀岡一郎氏)鋼材の酸洗脆性と其防止法、其他

○東大陸 (二月號、國民士氣の昂揚)

○鐵道軌道 (第一卷一號) 鐵道軌道統制會刊行

(古谷善亮氏)軌道運輸規定改正の趣旨

○河川 (第一卷一、二二號)

○電氣通信學會雜誌 (第二三六號)

○發送電 (二月號)

○土木雜誌 (二月號)

(河村協氏)錦帶橋

○科學技術動員 (産業の測器化特輯第一卷五號)

○都市公報 (二月號)

○清和 (第九卷一〇號)

○土木試驗所報告 (第六六號)

(島田八郎氏)路面の色光反射に關する試驗並に燈火管制への

寄與)

○土木學會誌 (第二八卷一〇、一一號)

(一)一號田中豐氏)拱橋に於ける軸線の一解法に就て、石原藤次

郎氏)橋脚による河床洗掘に關する實驗的研究)

○土木技術研究所報告 (第一輯) 東京市役所

○大政翼賛會調査會資料 (第三輯) 大政翼賛會

○小遷送の決戰體制 日本交通協會

○土木滿洲 (第二卷五號)

○警察協會雜誌 (二月號)

○都市問題 (二月號)

○道路 (第四卷一、二二號)

(關門國道隧道特輯號)

○汎交通 (二月號)

○觀光 (二月號)

(南方進出ホテル業者一覽表)

○新民 (第三七卷一一號)

○水道協會雜誌 (第一一五號)

○ゼメント界彙報 (第四一七號終刊號)

○法律時報 (第一四卷一二號)

○大大阪 (第一八卷第一二號)

○興土 (第一卷四號)

○港灣 (第一九卷一二號)

○自警 (第一一月號)

x x x x x x x x